

目次

- 1 高次脳機能障害を学ぼう
 - 第6回 半側空間無視とは

1. 高次脳機能障がいを学ぼう

第6回 半側空間無視とは

脳に傷がついた時に、傷がついた側と反対側にあるものや音などの情報や感覚に気づきにくくなる症状を「半側空間無視」と言います。一般的には、右脳に傷がついた場合に左側を見落とすことが多く見られます。

具体的な症状としては

- ・ 右側のおかずばかり食べて左側を残してしまう
- ・ 車いすの左側のブレーキに注意が向かず、いつもかけ忘れる
- ・ 歩行中、通路に置いてある物や扉にぶつかってしまう
- ・ 左側から話しかけられても気づくことができない

などがあります。

半側空間無視がある人の中には、物の大きさや距離感、奥行きなど、目で見える情報を捉える「空間認知能力」が同時に低下している場合もあります。練習のためだから！と苦手な方からばかり関わったり、視覚を使った訓練ばかりを行うことはかなりストレスがかかります。また、気づきにくいという状況で活動することは周りが思っている以上に怖さが伴うようです。そのため、普段は気づきやすい方から声をかけたり、訓練を行う時は、「左側にも気を付けて下さいね」と前もって声を掛けて心の準備をしてもらうなどの配慮も大切にしましょう。

また、本人がよく使う場所（通路、作業を行う部屋など）はできる限り整理して、余計な物を置かないようにしておくとお過ごしやすくなります。

次回は、「こんな時どうする？」をお送りします。

